

## 本年度の取組みについて

### 【本年度の実施・検討事項】

本年度、本協議会で実施・検討する事項は下記のとおり。なお、各事業は、熊本大学との共同研究として実施することとしている。

- 1 「東バイパスを運行する総合病院環状ルート」実証実験の実施・検証
- 2 乗換拠点に関する検討
- 3 利用促進策の実施・検証
  - ・ バストリガー方式導入に向けたアンケート調査の実施・検証
  - ・ モビリティマネジメントの実施
- 4 運行体制に関する検討
  - ・ 他都市の事例検証
  - ・ 市営本山営業所移譲路線の検証
  - ・ 本市における望ましい運行体制の検討
  - ・ 路線網再編経営収支シミュレーション

# 1 「東バイパスを運行する総合病院環状ルート」実証実験の実施・検証

## (1) 目的

本格的な少子高齢社会を迎え、生活に必要な移動手段の確保は、今後ますます重要な課題となっていることから、総合病院が点在する東バイパスに西南部と東部を結ぶ環状線を運行させるとともに、中心部に向かう幹線と交差するバス停を乗継利便向上のサービスを併用して行うことで、環状線の有効性を検証するとともに、路線維持の可能性について検証するもの。

## (2) 内容

### 1) 運行路線(起終点、ルート、停車バス停)

停車バス停については、今後検討する。



### 2) 運行時間(時間帯、頻度、ダイヤ調整)

運行時間帯

平日、7時台～21時台(外来、通勤の時間帯を考慮)

運行頻度

概ね30分間隔(2本/時間)程度

ダイヤ調整

乗り換えの待ち時間は10～15分程度にする。

3) 運行時期 (開始時期、期間)

開始時期

平成21年9月頃

期間

概ね3ヶ月程度

4) 運行料金 (運賃・乗継割引)

運賃・乗継割引

1乗車150円程度の均一料金とし、乗継運賃の軽減も兼ねる。もしくは、通常の距離制を適用し、幹線、東パイパスと交差するバス停において乗継券を発行し、初乗り運賃をなくす等の乗継軽減策を実施する。

5) 運行方法 (事業者、運行車両)

事業者

各バス事業者持ち寄りによる共同運行

運行車両

大型バス他

6) 広報、評価項目

広報

ポスター、チラシの作成、総合病院での時刻表の配布、沿線事業所への周知、ホームページ等

評価項目

乗降OD (起点・終点) の調査、乗客数、収支状況、アンケート調査

(3) スケジュール

項目	「東パイパスを運行する総合病院環状ルート」実証実験の実施・検証												
	プログラム	実施時期											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実証実験の企画・立案	→												
実証実験の広報・実施					⇨	→							
実証実験中の調査						→							
事後評価												→	

## 2 乗換拠点に関する検討

### (1) 目的

バス路線網や利用促進策を盛り込んだ「地域公共交通総合連携計画」に位置づけられたバス路線網における乗換拠点について、整備を進めるため、乗換拠点の整備優先順位や手法等の調査を行うもの。

### (2) 内容

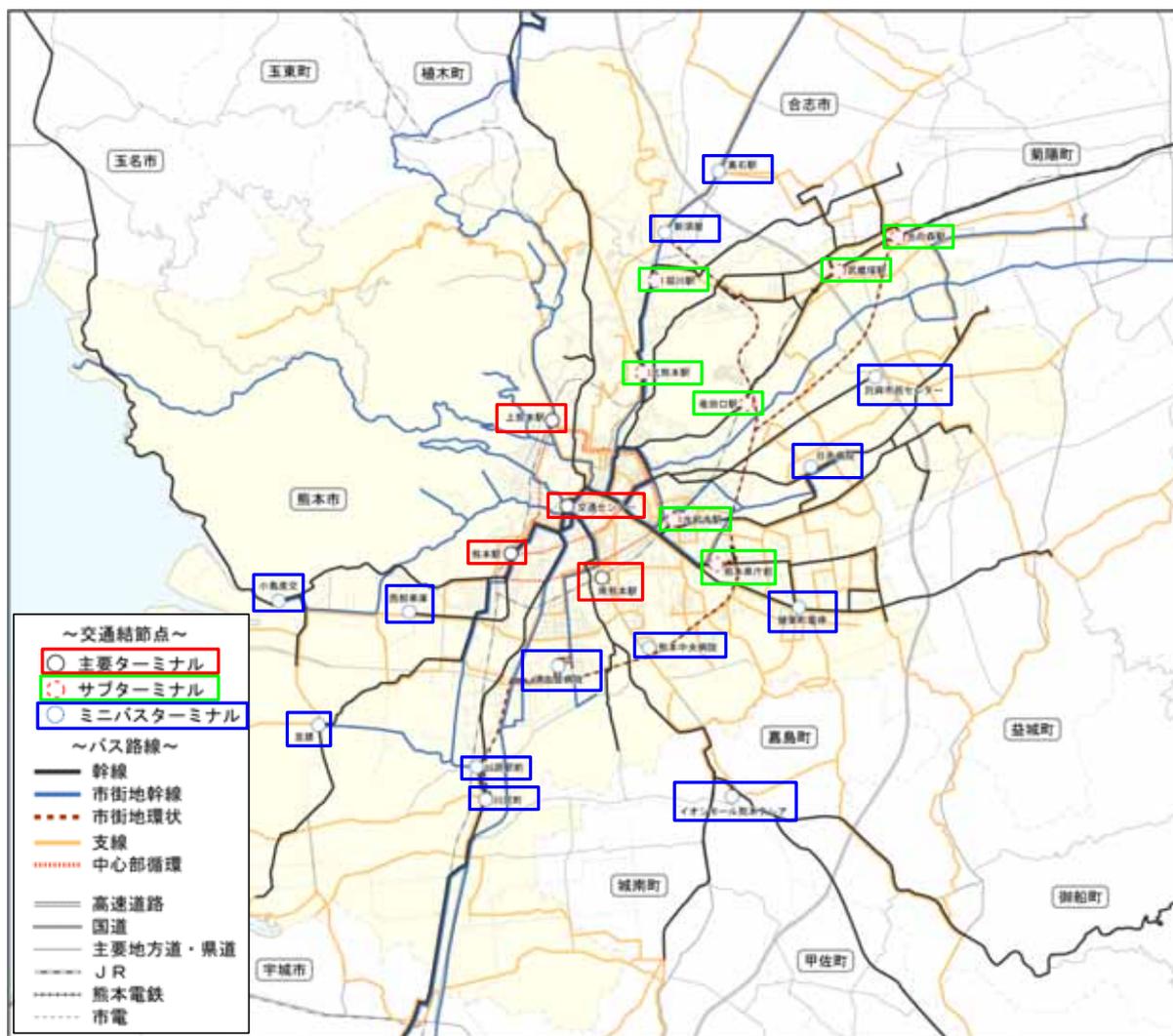
乗換拠点候補地の現況把握、バス路線計画の検討、乗換え拠点の概略検討、整備効果の算出、整備優先順位の検討を行う。

想定される乗換拠点は、健軍電停周辺、県庁周辺、川尻駅周辺、託麻市民センター周辺、並建周辺、武蔵塚駅周辺等

主要ターミナル、サブターミナルの整備イメージ



ミニバスターミナルの整備イメージ



(3) 主なバス停の様子



県庁前



光の森駅前



日赤病院構内



熊本中央病院構内

(4) スケジュール

項目	乗換拠点に関する検討												
	プログラム	実施時期											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
現地調査			→										
乗継拠点に関する検討					→	→	→	→	→	→	→	→	
関係機関との打合せ					→	→	→	→	→	→	→	→	
効果算出、取りまとめ												→	

### 3 利用促進策の実施・検証

#### バストリガー方式導入に向けたアンケート調査の実施・検討

##### (1) 内容

バス事業者による利便性向上策の導入を促すため、運賃の割引や増便など施策を実施する場合には、事前に設定した基準値を満たさなければ元に戻すことを約する協定を締結する方式。

熊本市の場合は、特定施設とこの施策について全面協力を約し、その施設利用者に限り特典を与えて公共交通の利用を促し、利用拡大や自動車利用からの転換を図ることにしている。本年度は本格実施を見据え、その可能性を探るためにアンケート調査を行う。



出典：国土交通省総合政策局交通計画課 HP

##### (2) スケジュール

項目	バストリガー方式導入に向けたアンケート調査の実施・検討												
	実施時期												
プログラム	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
バス会社，施設との打合せ			→										
アンケート調査						→							
検証									→				
本格実施への準備											→		

## モビリティマネジメントの実施

### (1) 内容

モビリティマネジメントとは、「過度に自動車に頼る状態」から「多様な交通手段をかしこく利用する状態」へ少しずつ変えるために「ひとり一人の意識と行動の転換を促すコミュニケーション施策」のことを示す。

熊本市の場合、対象路線沿線にバスに関する基本情報である時刻表、路線図などを配布し、利用動向にどのように影響があるか調査し、利用転換を促す。

### 現在行っている施策



### うえるかむパスポート

熊本市市民課では、市外からの転入者に観光施設が無料となるパスポートを配布している。



バス路線図と一緒に配ってもらう。



### (2) スケジュール

項目	モビリティマネジメントの実施												
	プログラム	実施時期											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
バス会社との打合せ													
モビリティマネジメントの実施													
検証													

## 4 運行体制に関する検討

### (1) 検討内容

他都市における事例収集

公営バス事業の民営化事例や運行体制に関する事例について整理する。

市営本山営業所移譲路線の検証

運行状況や利用状況について検証する。

運行体制の方向性の検討

本市における望ましい運行体制について検討する。

路線網再編経営収支シミュレーション

運行体制の方向性を踏まえ、路線網再編に伴う経営面のシミュレーションを行う。

### (2) スケジュール

項目	運行体制に関する検討												
	プログラム	実施時期											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
他都市における事例収集			→										
市営本山営業所移譲路線の検証							→						
運行体制の方向性の検討					→								
路線網再編経営収支シミュレーション								→					